

迷惑メール対策 Barracuda(バラクーダ)操作マニュアル



迷惑メール対策[Barracuda(バラクーダ)]について

迷惑メール対策[Barracuda]は、お客様のメールアドレスに対して送信されるスパムメールをチェック・ブロックするオプションサービスです(一般的に「スパムファイアウォール」と呼ばれます)。Barracudaでは、スパムデータベースおよびメール本文のチェックを行い、スパムメールか否かの判定を行います。その結果、まれにスパムでないメールもブロックされる恐れがございます。本マニュアルをご確認いただき、お客様ご自身でファイアウォールへの学習や定期的なご確認をお願いいたします。

内容(目次)

- ① アカウント登録の通知
- ② デイリーのスパムメールの通知(スパム隔離サマリー)
- ③ スパムメール一覧の確認
- ④ 個人アカウントでの情報登録
- ⑤ 個人設定
- ⑥ 個人学習
- ⑦ パスワード変更



Barracudaにメールアカウントを登録されると、下記のメールが送付されます。 メールには、各メールアカウントの隔離ボックスへのログインIDおよび、パスワードが 記載されています。

※TEXTメールおよびHTMLメールに対応しておりますが、メール文字コードはUnicode(UTF-8)のみでの配送となります。グループウェア等のWebメールをお使いの方や、お使いのメーラーにて、文字コードのUTF-8に対応していない場合は、文字化けが発生しますのでご注意下さい。



パスワードの変更時に旧パス ワードを入力する必要があり ます。この通知メールは大切 に保管してください。



1日1回、各メールアカウント宛に、隔離ボックスに隔離されたスパムメールの通知メールが 配送されます。





前ページ(4ページ)の通知メールから、赤枠で囲まれている「<u>隔離受信ボックス内の確認や、</u> <u>プリファレンスの管理作業を行うには、ここをクリックしてください。</u>」をクリックすると Barracuda画面の「隔離受信ボックス」が表示されます。

この画面で隔離されたメールの要否を判断し、スパム学習または配送処理を実施します。



検索表示ボタン

メールの件名、送信者、本文に含まれる文字列で表示したいメールだけを検索表示できます。

学習機能ボタン

スパムか非スパムかの判定効果を改善するため の学習機能ボタンです。スパムであるメールと スパムではないメールのサンプルを学習させる 事が出来ます。(ベイジアン学習)

過去にスパムとして学習したメールに多く含まれていた単語やヘッダ情報などを元に、統計的にスパムに見えるものと非スパムに見えるものにそれぞれ点数づけ(スコアリング)をします。

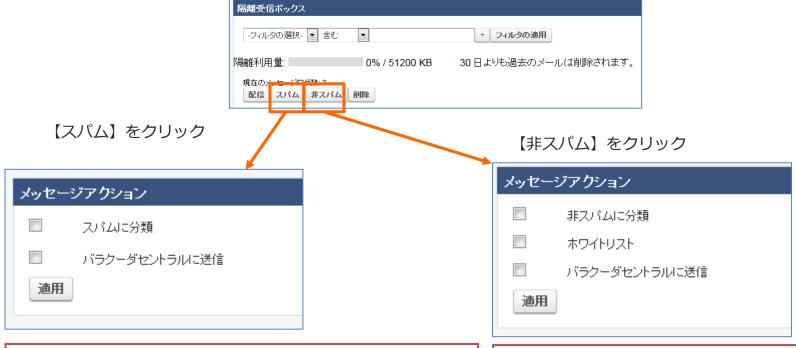
個々のボタンの説明は、次ページ(6ページ)をご覧下さい。

アクションボタン

アクションボタンでの各スパムメールの処理も出来ます。

配送 : メールサーバへの配送 ホワイトリスト: 許可するアドレスとして登録し配送 削除 : メールそのものを消去





□スパムに分類

システムのデータベースに「スパム」として分類され、学習させます。

□バラクーダセントラルに送信

バラクーダセントラルの解析機関がスパムの傾向を早い段階で認識し、スパム検知技術とウィルス定義を新しく改良するための開発目的に利用されます。これらの定義はエネルギー充填サービスによって、全てのBarracuda Spam & Virus Firewall に自動的に配信されます。

□非スパムに分類

システムのデータベースに「非スパム」として分類され、学習させます。

□ホワイトリスト

信頼できるメールアドレス(隔離したくないメールアドレス) である場合に選択させます。



画面上部「プリファレンス」タブの「ホワイトリスト/ブラックリスト」をクリックすると「ホワイトリスト」(許可したいメールアドレス/ドメインの一覧)及び 「ブラックリスト」(拒否したいメールアドレス/ドメインの一覧)の作成ができます。



許可するメールアドレスとドメイン

"ホワイトリスト"化したいメール送信者をこの画面で追加・編集します。このリストの送信者はメールがスパムルールに合致する場合でも拒否されることはありません。

拒否するメールアドレスとドメイン

"ブラックリスト"化したいメール送信者をこの画面で追加・編集します。このリストの送信者のメールは、現在ホワイトリストに記述していない限りメールの内容に関わらず拒否されます。

リストの定義

ホワイトリストとブラックリストはEメールアドレス("user@domain.com")、ドメイン名("domain.com")、およびドメインの一部分("com")で定義できます。



画面上部「プリファレンス」タブの「隔離設定」をクリックすると 各アカウントの以下項目が設定できます。



隔離機能の有効化/無効化

隔離有効化/無効化はアカウントの隔離設定の有無を設定します。有効にすると、メールがバラクーダスパムファイアウォールに隔離され通知メールが送信されます。無効にすると、メールが隔離されずに、受信者のメールアドレスへ配送されます。

隔離涌知

隔離通知はどの程度の頻度で隔離メールの情報の状態を配信するか設定します。

デフォルト言語

隔離通知メールの言 語設定を行います。



画面上部「プリファレンス」タブの「スパム設定」をクリックすると 各アカウントのスパム学習に関する設定ができます。



スパムフィルタの有効化/無効化

スパムフィルタの有効化/無効化はメールのスパムスキャンの有無を設定します。有効の場合、バラクーダスパムファイアウォールのスパムフィルタによってスパムと分類されたメッセージは拒否、隔離、もしくはタグ付けが行われます。無効の場合、メールはスパムフィルタによるスキャンは実行されず受信者へ配送されます。

ベイジアン学習

ユーザー毎に学習が可能で、『スパムと分類』『非スパムと分類』を学習させたメールの件数が表示されます。このベイジアン学習結果を有効にするためには、非スパム・スパムをそれぞれ200件学習させる必要があります。

※また、学習効果を持続させるためには、 6ヶ月毎にデータベースを初期化して運用 頂くことが推奨されております。

バラクーダベイジアンのバックアップ

ユーザがバラクーダベイジアンのバック アップを作成する事ができ、バラクーダベ イジアンのデータが壊れた際に復旧するこ とができます。



画面上部「プリファレンス」タブの「パスワード」をクリックすると 隔離受信ボックスのログインパスワードを変更できます。



パスワード変更

変更する場合、現在のパスワード (旧パスワード)を入力する必要が あります。

アカウント登録時にスパムファイアウォールから送られたログインIDとパスワードが記載されたメールは大切に保管をお願いします。



パスワードを紛失した場合、以下のログイン画面から各自で再発行可能です。

http://spamcs1.enets.ne.jp/cgi-mod/index.cgi

